

ハウス栽培におけるストックの播種期が生育並びに品質に及ぼす影響

沼 宗三・八代 昇*・安斉 正典

(福島県農業試験場いわき支場・*福島県農業改良課)

Effect of the Time of Seeding on Growth and Flower Quality
of Common Stock at Plastic House Culture

Sozo NUMA, Noboru YASHIRO* and Masanori ANZAI

Iwaki Branch, Fukushima Prefecture Agricultural Experiment Station ·

(*Agricultural Improvement Section of Fukushima Prefectural Government Office)

1 ま え が き

県内では冬期無加温のパイプハウスを利用して、低温性切花を主体とした周年切花栽培が年々増えてきている。その主要作物であるストックの播種期について検討した。

ストックの作型は、6月から8月に播種し9月から12月出荷の夏播きと、1月から3月に播種し4月から6月出荷の春播きの年二作がある。そこで当地方における夏播きと春播きの場合の播種適期を知るため1979年と80年に試験を行った。

2 試 験 方 法

I 夏播き(1979年)

供試品種: クリスマス・スノー, 先勝の雪

処 理 区:

区	播種期	定植期	備 考
1	6月16日	7月5日	箱にすじ播き
2	6. 29	7. 19	
3	7. 12	8. 2	
4	7. 26	8. 17	
5	8. 9	8. 30	

耕種概要: ① 栽植距離 15×10cm (1m幅のベッドに9条植え)

② 施肥量 堆肥200, N・P₂O₅・K₂O各1.5 (kg/a)

区 制: 1区45株, 2連制

II 春播き(1980年)

供試品種: 先勝の雪

処 理 区:

区	播種期	定植期	備 考
1	1月9日	2月20日	箱にすじ播き 最低夜温10℃のガラス室内で育苗
2	1. 23	3. 5	
3	2. 8	3. 19	
4	2. 20	3. 26	
5	3. 5	4. 9	
6	3. 19	4. 23	

耕種概要: ① 栽植距離 15×10cm (90cm幅のベッ

ドに7条植え)

② 施肥量 夏播きに同じ

③ 定植床は黒ポリマルチをし、定植から3月末日までポリ+ホカホカマットを被覆

区 制: 1区35株, 2連制

3 試 験 結 果

I 夏播き

平均切花日は6月16日播種でクリスマス・スノーが9月8日, 先勝の雪が8月25日, 8月9日播種でクリスマス・スノーが11月29日, 先勝の雪が11月4日と播種期が早いほど早く, 先勝の雪がクリスマス・スノーより同一播種期では早かった。

開花所要日数はクリスマス・スノーで84~112日, 先勝の雪で70~87日と先勝の雪がクリスマス・スノーより播種後開花までの日数は短かった。先勝の雪は, 播種期が早いほど開花所要日数は短くなる傾向だったが, クリスマス・スノーでは明確ではなかった。

開花期間はクリスマス・スノーで42~55日, 先勝の雪で12~36日とクリスマス・スノーが若干開花揃いがよくなかった。

表1 開花調査

品 種	区	平 均 開 花 日 (月・日)	開花期間 (日)	開 花 [※] 所要日数 (日)	開 花 率 (%)
クリスマス・スノー	1	9. 8	55	84	90.0
	2	10. 7	50	100	87.8
	3	10. 6	42	96	97.7
	4	10. 27	55	93	82.2
	5	11. 29	55	112	77.7
先勝の雪	1	8. 25	26	70	93.4
	2	9. 16	24	79	80.0
	3	10. 1	36	81	100
	4	10. 20	31	86	100
	5	11. 4	12	87	96.6

注. 3~5輪開花時に調査

※ 播種から平均開花日までの日数

クリスマス・スノーは, 播種期が遅くなると開花率が低

下する。この傾向は前年度の成績と合せ考えると、先勝の雪でもみられた。

播種期が遅いほどクリスマス・スノーは切花長、切花重、花穂長が大きく、切花長が60 cm以上の割合も高くなった。先勝の雪も播種期が遅いほど切花長は長くなる傾向であり、6月中の播種では切花長が45 cm以上のものが切れず、30 cm未満のものが過半を占め、7月、8月の播種では45 cm以上のものが若干切れたが45 cm未満30 cm以上のものが大部分となった。

表2 切花調査

品種	区	切花長 (cm)	切花重 (g)	花穂長 (cm)	茎 径※ (mm)	葉 数 (枚)
クリスマス・スノー	1	53.8	65.1		6.4	53.2
	2	59.0	62.7	7.3	5.7	61.6
	3	57.5	53.3	7.7	5.6	53.4
	4	63.3	61.0	8.4	6.0	51.5
	5	70.3	76.7	8.9	7.2	48.9
先勝の雪	1	29.5	37.9		5.6	33.6
	2	27.1	49.4	6.6	5.9	39.6
	3	32.0	44.6	7.2	5.6	38.6
	4	40.9	48.9	8.5	5.8	38.0
	5	41.1	48.4	7.2	6.0	31.0

注. ※ 切り口より1 cm 上部の太さ、18本調査

表3 長さ別切花割合

品種	区	L (%)	M (%)	S (%)	SS (%)	備 考
クリスマス・スノー	1	30.9	60.4	8.7		L 60 cm 以上
	2	40.5	54.5	5.0		M 60 cm 未満
	3	40.9	55.7	1.1	2.3	45 cm 以上
	4	58.1	41.9			S 45 cm 未満
	5	82.9	17.1			30 cm 以上
先勝の雪	1			50.0	50.0	SS 30 cm 未満
	2			32.0	68.0	
	3		1.1	79.3	19.6	
	4		13.3	86.7		
	5		14.9	85.1		

II 春播き

平均開花日は1月9日播種で5月1日、3月19日播種で6月9日と播種期が早いほど早かった。

開花所要日数は82~113日と播種期が遅いほど短かく、また開花期間も8~22日と播種期が遅いほど短かく開花揃いがよかった。

1月9日播種は切花長、切花重が若干大きかったが、2月20日播種まではほぼ同様の切花となった。3月中の遅い播種期では切花長、切花重がやや小さかったが、花穂長はそれ以前の播種期のものと大差がなかった。

1月9日播種は切花長が60 cm以上の割合が高く、3月

19日播種は45 cm未満30 cm以上の割合が高かった。しかし1月9日、3月19日以外の播種期では、3月5日播種で45 cm未満の割合が若干高かったが、切花長が60 cm未満45 cm以上のものが大部分であった。

表4 開花調査

区	平 均 開 花 日 (月・日)	開花期間 (日)	開 花※ 所要日数 (日)	開 花 率 (%)
1	5. 1	22	113	87.2
2	5. 7	15	105	98.6
3	5. 17	16	99	82.2
4	5. 20	8	90	100
5	5. 29	8	85	98.6
6	6. 9	8	82	100

注. 3~5輪開花時に調査

※ 播種から平均開花日までの日数

表5 切花調査

区	切花長 (cm)	切花重 (g)	花穂長 (cm)	茎 径※ (mm)	葉 数 (枚)
1	59.0	120.4	12.5	10.4	33.7
2	54.9	100.2	12.6	10.1	28.8
3	53.4	107.7	9.7	11.0	30.8
4	55.7	101.2	10.7	10.0	28.4
5	49.5	76.4	10.1	8.9	29.6
6	44.3	70.1	10.2	8.3	30.0

注. ※ 切り口より1 cm 上部の太さ、14本調査

表6 長さ別切花割合

区	L (%)	M (%)	S (%)	備 考
1	49.2	49.2	1.6	L 60 cm 以上
2	15.2	78.2	5.6	M 60 cm 未満
3	6.5	91.3	2.2	45 cm 以上
4	12.9	85.7	1.4	S 45 cm 未満
5	1.4	86.1	12.5	30 cm 以上
6		52.9	47.1	

以上の結果から、夏播きの場合、播種期が早いほど切花長が短かく、遅くなると低温期に向かうため開花率の低下がみられ、当地方におけるストックの播種期は長幹種のクリスマス・スノーは6月下旬から8月上旬までが適当で、9月上旬から11月下旬まで切花ができ、短幹種の先勝の雪は切花長が40 cm前後と短かかったが、7月上中旬から8月上旬までが適当で、10月上旬から11月上旬まで切花できる。

春播きの場合は、播種期が遅いほど切花長が短くなり、先勝の雪は切花長が50 cm前後と若干短かかったが、1月上旬から3月上旬までが適当であり、5月上旬から下旬にかけて切花となる。